

**平成24年度独立行政法人国立女性教育会館
「社会教育実習生受入事業」実施要項**

国内の大学その他の教育機関（以下「大学等」という。）に在籍する学生等で、社会教育実習の単位を取得するため、主催事業の運営及び会館の利用者の受け入れに関する業務の体験実習を通じて、女性教育の現状及び女性教育施設の役割等について学習することを目的とするものを、社会教育実習生として受け入れます。

社会教育実習生の受入は、次のとおりです。

1 受入れ期間

別紙1「平成24年度社会教育実習生受入期間等一覧」のとおりです。

2 実習申込み

（1）別紙2「申込書」により大学等からの申請によるものとします。

（2）受入人数は別紙1のとおりとし、申込み多数の場合は、選考の上通知するものとします。

3 指導担当者

主たる指導担当者は、別紙1のとおり当該実習生を受入れる主催事業等を担当する課の専門職員等とします。

4 実習時間

1日の実習時間は原則として8時30分から17時としますが、主催事業実施期間については指導担当者の指示によるものとします。

5 評価

大学等から、社会教育実習生の評価について申し出がある場合は、理事長は、社会教育実習生が所定の実習を修了した後、指導担当者の意見を踏まえ評価を行い、当該大学等にその結果を報告するものとします。

6 実習内容

申請大学（担当教員）等との協議に基づき、次の内容を取り入れた実習計画とします。

- ① 女性教育の現状と国立女性教育会館の役割に関する講義
- ② 会館の事業運営についての講義
- ③ 主催事業の実施に関する業務
- ④ 受け入れに関する業務
- ⑤ 情報に関する業務
- ⑥ その他

7 経費

（1）実習料

実習料として参加者1名につき4,000円を、申し込み大学等が事前に会館へ納付してください。

（2）その他実習に際し要する経費については、本人負担とします。

例：食費、自宅から会館への交通費、宿泊代（1泊1,000円）、保険料（各自で加入）、その他必要な経費

8 その他

実習生は、実習受講の記録を作成し指導担当者に提出することとします。

平成24年度社会教育実習生受入期間等一覧

独立行政法人国立女性教育会館

受入期間及び 受入人数	受入期間中に開催する 事業名及び開催期日等	左記事業の内容	指導 担当者
8月20日(月) ～26日(日) ＜7日間＞ 2名	男女共同参画のための研究と実践 の交流推進フォーラム (NWEC フォーラム) 平成24年 8月24日(金)～26日(日) 2泊3日	女性の多様なキャリア形成支援、 次世代育成支援、ワーク・ライフ・バ ランス等喫緊の課題の解決に資す るため、実践と研究に基づく相互交 流を促進し、新たな人材の発掘・確 保・育成の機会となるよう、ネットワ ークづくりを支援する。	事業課 専門職員
11月21日(水) ～22日(木) 及び 11月26日(月) ～30日(金) 2名	大学職員のための男女共同参画推 進研修 平成24年 11月29日(木)～30日(金) 1泊2日	近年、大学は、社会人・職業人と して自立できる人材を育成し、社会 に送り出す役割を担っているだけで なく、地域の知の拠点としても重要 な役割を担っている。社会・地域に 大きな影響を与える大学において、 男女共同参画が推進されるよう、大 学の意思決定組織に所属する教職 員等を対象とした研修を実施する。	事業課 専門職員
8月から10月の間 で希望する7日間 2名 期日は個別に相談 に応じます。なお、 申し込み状況により 調整をお願いする場 合があります。	女性情報ポータル及びデータベー スの整備充実、女性アーカイブ機 能の充実	男女共同参画社会の形成に資す る女性・家庭・家族関連のポータル サイトのコンテンツ及び会館が構 築・提供してきた各種データベース 類を更新し、情報提供の充実を図 る。 女性関係史・資料を収集・整理し、 女性アーカイブセンターおよび「女 性デジタルアーカイブシステム」、展 示を通じて利用に供する。	情報課 専門職員